

褥瘡だより43号

2023年10月発行
ふくの若葉病院
褥瘡対策委員会

～褥瘡の発生と栄養のかかわり～

栄養状態の低下と褥瘡の関係は？
低栄養状態が褥瘡の発生、治癒の遅延に関与している！



長期寝たきり患者

摂食能力の低下
(食思不振、嚥下困難など)



栄養状態の悪化

貧血、浮腫など

組織への栄養供給障害
外圧に対する耐性低下

るいそう

病的骨突出

難治化

栄養状態の悪化

褥瘡

創傷部位からの体液滲出
※血清蛋白、アルブミン、
ヘモグロビンなど含む

・長期寝たきり患者さんの摂食能力の低下は、貧血や浮腫などを招き、外部からの圧力や摩擦などに対する耐性を低下させ、褥瘡を発生させる。

・また、栄養状態の低下によって「るいそう」が生じ、それが病的骨突出を引き起こして、褥瘡の発生に至る。

・褥瘡が発生すると、創部から血清蛋白、アルブミン、ヘモグロビンなどを含む体液が滲出し、さらに栄養状態が悪化して、褥瘡は難治化する。

栄養状態を評価する方法は？

身体計測、褥瘡ケアで重要な栄養成分の測定を行う！

①体重

経時的に体重を測定することにより、減少率を算出でき、低栄養のリスクを発見できます。

②血清アルブミン値

褥瘡予防の目標：最低3.0g/dLできれば3.5g/dL以上

アルブミンは、肝臓で合成される血清蛋白であり、血液の浸透圧の維持、栄養成分の運搬・結合を担っています。

血清アルブミン値が低いほど褥瘡が発生しやすく、褥瘡の深達度も相関関係にあることが知られています。血清アルブミン値が2.5g/dL以下になると、浮腫の発生により、褥瘡発生のリスクが高くなります。

③ヘモグロビン値

褥瘡予防の目標：最低10.0g/dLできれば11.0g/dL以上

ヘモグロビンは、血中の酸素を全身に運搬する働きを持っています。貧血は血中のヘモグロビン値が低下した状態であり、褥瘡の危険因子です。



<実際の患者の経過(Y氏左大転子部)>

Y氏 90歳代 男性 身長:152cm (標準体重:50.8kg)

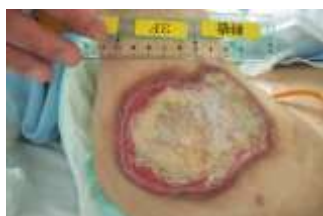
★必要エネルギー量: $50.8\text{kg} \times 30\text{kcal} = 1524\text{kcal}$

★必要たんぱく質量: $50.8\text{kg} \times 1.1\text{g} = 55.9\text{g}$

☆食事内容: エネルギー制限食きざみとろみ菜、全粥250g、牛乳(とろみ付)

メイバランスArg(とろみ付)1本(補助食品)

1493kcal(エネルギー量) 59.7g(たんぱく質量)



2022年4月入院時

5月

9月

2023年2月

①体重	49.7kg	→	46.4kg	→	48.3kg	→	48.8kg	→	49.3kg	→	51.3kg
②Alb	2.8g/dl	→		→	3.6g/dl	→		→	3.1g/dl		
③Hb	12.1g/dl	→	9.9g/dl	→	11.4g/dl	→		→	11.3g/dl		